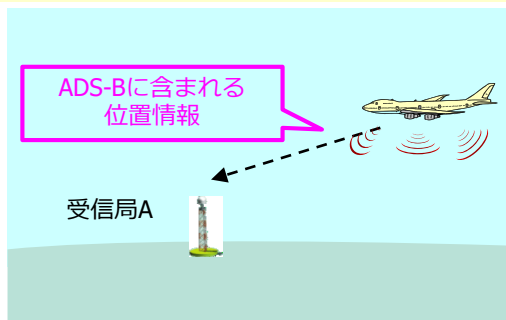


【実現施策の概要】

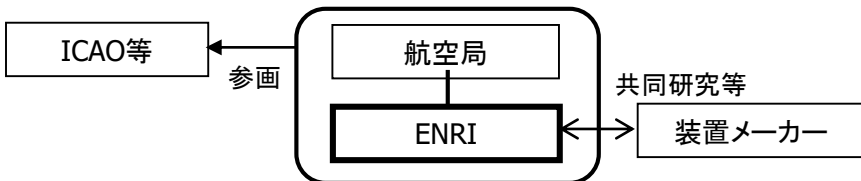
○ 監視システムが整備されていない非監視空域について、更にSSR又はWAMを整備するのではなく、整備費及び維持費が安価であるADS-Bを導入し、監視能力の向上を図る。



■ ADS-Bによる監視イメージ

【研究の実施概要】 2017～2021年度

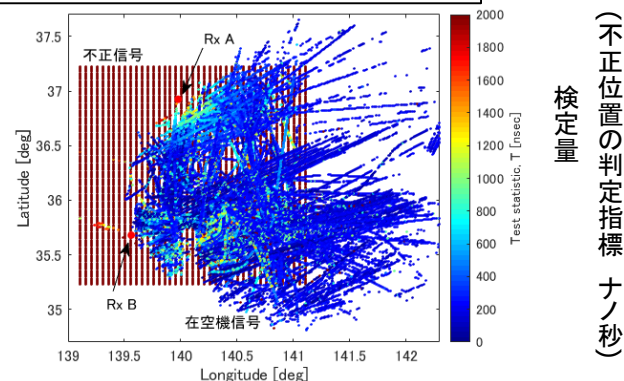
- ・設定課題・目標 ADS-B脆弱性対策技術の開発検証及び監視性能評価
- ・研究テーマ名 【従属監視補完技術に関する研究(2017～2020年度) (長縄 潤一、宮崎 裕己)】
- 【ADS-Bを用いた監視能力向上の研究(2018～2020年度) (長縄 潤一、宮崎 裕己)】
- ・研究実施体制 下記参照。運営費交付金による事業



【成果還元の内容】

○ADS-Bの課題である脆弱性対策について、偽位置・誤位置(以下、不正位置)を判定する位置検証技術の評価実験を実施。不正位置の判定に成功。

評価の一例：不正位置の判定実験 (28時間分)



【ENRI開発技術の反映内容】

- ・評価実験により、不正位置判定について十分な性能を確認。
- ・今後、航空局によるADS-B受信局整備において、ENRI開発技術を採用し脆弱性対策を実施予定。

【WEB参照先】 電子航法研究所 年報
https://www.enri.go.jp/info/nenpou/nenpou_index.htm

【問合せ先】

(施策に関する問合せ) CARATS事務局
 国土交通省 航空局 交通管制部 交通管制企画課 03-5253-8111(内線51104・51106)
 (研究に関する問合せ) 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
 電子航法研究所 研究統括監付 0422-41-3432